

News Release

2021年10月8日

お客様各位

株式会社名門大洋フェリー

新造船「フェリーふくおか」命名・進水式を実施 2021年10月8日（金）

平素は、格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

掲題の件、大阪南港～北九州・新門司港間でフェリーを運航する株式会社名門大洋フェリー（本社：大阪市西区、代表取締役社長：野口 恭広）では、10月8日（金）三菱重工業株式会社 下関造船所において建造中の新造船の命名・進水式を執り行いました。

式典では、本船の命名を独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 理事長 河内 隆（かわち たかし）様が「フェリーふくおか」と命名し、支綱切断は、福岡県知事 ご令室 服部 敦子（はっとり あつこ）様により行われました。

記

船舶概要：

- <主要目>
- | | |
|-----------------------------|--|
| (1) 2002年就航「フェリーふくおかII」の代替船 | |
| (2) 全長・全幅 | 195m・27.8m（被代替船167m・25.6m） |
| (3) 総トン数 | 約15,400トン（被代替船9,774トン） |
| (4) 車輦積載台数 | トラック（12m換算）約162台、乗用車約140台 （被代替船 トラック約108台、乗用車約145台） |
| (5) 旅客定員 | 675名（被代替船692名） |
| (6) 就航時期 | 2022年3月下旬(予定) |

<特長>(1) 省エネ船

- ・ハイブリッド型推進方式、空気潤滑システムならびにアジマススラスタ等の採用で省エネを実現

(2) 環境負荷低減

- ・スクラバーの採用で排ガス中のSO_x（硫黄酸化物）を低減

(3) 貨物ユーザーに向けたサービス強化

- ・トラック積載台数の増加（108台 → 162台と1.5倍）

- ・二層同時荷役方式の採用で荷役時間を短縮
- ・ドライバーズルームの個室化と増室（100ベッド→108室）

(4) 乗船客に向けたサービス強化

- ・乗船客の利便性向上のため、旅客甲板に乗用車用積載スペースを確保
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策として、抗ウイルス・抗菌加工をはじめ、客室はカーペット敷き大部屋を廃止しベッド化
- ・船体の大型化による広々とした公共スペースと開放感のある展望レストラン、展望浴室、展望ラウンジ
- ・個人客のニーズに合わせてシングルルームとツインルームを増設し、トイレ・シャワー付きツインルームを新設
- ・ファミリー客のための授乳室、キッズルームの新設
- ・女性客のためのパウダールームの新設
- ・電気自動車用充電器の設置
- ・エレベーターを2基設置（被代替船「フェリーふくおかII」1基）

(5) 船内デザインコンセプト

- ・被代替船の船名から「ふくおか」の都市名を継承することから、近代的なウォーターフロントを感じさせる『ベイサイドシティのきらめき』を基本コンセプトとしています。